

福島大学の大震災以降の取り組みとF-REIへの参画

東日本大震災



東日本大震災から13年が経過も、いまだ県内外に約2.6万人の避難者、風評被害、県内からの人口流出等、課題は継続している。

復旧段階

復興段階

福島国際研究教育機構への参画



◆本学を代表として申請した事業

	分野	応募テーマ	代表者	研究体制	事業名
1	第1分野 「困難環境下でのロボット・ドローン活用促進に向けた研究開発」	(3)湖沼、森林内などでの調査に対応するロボット・ドローンの研究開発	共生システム理工学類 教授 高橋隆行	本学単独	環境放射能動態調査のための水中ロボットの開発とその応用に関する研究
2	第2分野 「福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進」	(4)施設園芸におけるエネルギー循環利用技術体系の構築と実証	食農学類 教授 深山陽子	コンソーシアム形式 【岡山大学、岐阜大学】	極端気象に適応する次世代型ハウス環境制御技術の開発
3		(7)福島浜通り地域等の農林水産業復興の将来方向性に関する研究	食農学類 教授 小山良太	コンソーシアム形式 【PwCコンサルティング合同会社】 (本学研究分担者:荒井教授、申教授、河野教授、高山准教授、石川教授、福島准教授、林准教授、和田教授)	福島浜通り地域等の農林水産業の未来デザイン
4		(8)福島浜通り地域等の農林水産業復興に資する研究事業	食農学類 教授 二瓶直登	コンソーシアム形式 【理化学研究所、東京大学、筑波大学、北海道大学、京都大学】 (本学研究分担者:松田教授、尾形准教授、吉永准教授、菅波特任講師)	土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明
5	第3分野 「ネガティブエミッションのコア技術の研究開発・実証」	(1)植物のCO2固定及びネガティブエミッションへの利用に関する研究開発と実証	共生システム理工学類 教授 浅田隆志	コンソーシアム形式 【常磐共同火力(株)】 (本学研究分担者:新田教授)	浜通り地域のバイオマス資源を活用したネガティブエミッション技術の実証研究
6	第5分野 「原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究」	原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究	環境放射能研究所 教授 和田敏裕	コンソーシアム形式 【京都大学】 (本学研究分担者:高田准教授、小山教授)	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信(放射性物質の魚類への取込・排出メカニズム)

◆他機関が代表で本学がコンソーシアムに参画し申請した事業

	分野	応募テーマ	本学研究者	研究体制	事業名
1	第2分野 「福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進」	(2)輸出対応型果樹生産技術の開発・実証	食農学類 准教授 高田大輔	コンソーシアム形式 幹事：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	モモ及びナシに関する輸出対応型果樹生産技術の開発及び実証
2	第2分野 「福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進」	(5)化学肥料・化学農薬に頼らない耕畜連携に資する技術の開発・実証	食農学類 准教授 窪田陽介	コンソーシアム形式 幹事：東北大学	大規模牧場を核とした耕畜連携のための技術開発及び実証
3	第2分野 「福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進」	(6)未利用農林水産業資源を活用した新素材の開発	食農学類 教授 松田幹	コンソーシアム形式 幹事：東北大学	未利用資源等からのセルロース抽出の低コスト化とプラスチック代替素材の研究
4	第3分野 「ネガティブエミッションのコア技術の研究開発・実証」	(1)植物のCO2固定及びネガティブエミッションへの利用に関する研究開発と実証	食農学類発酵醸造 研究所 特任講師 菅波真央	コンソーシアム形式 幹事：岡山大学	水稻のCO2固定機能の高速評価手法等の開発
5	第5分野 「福島浜通り地域におけるまちづくり研究及びラーニング・コミュニティハブ整備事業」	(1)福島浜通り地域におけるまちづくり研究	共生システム理工学類 教授 川崎興太	コンソーシアム形式 幹事：東北大学	福島浜通り地域における復興・再生まちづくり研究
6	第5分野 「原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究」	原子力災害からの復興に向けた課題の解決に資する施策立案研究	環境放射能研究所 教授 難波謙二	コンソーシアム形式 幹事：長崎大学	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信（原子力災害医療科学）